

今週のフレーズ&ワード

have/express reservations

～慎重な姿勢を示す、不安に思う～

長年の懸案事項であった消費増税がついに実施されました。パーセンテージが2桁に乗ると急に高くなった感じがしますね。海外では付加価値税 (value added tax) と呼ばれています。一般的に、欧州の国々では高く20%以上である一方、アジア諸国では1桁のところもあり、“西高東低”といえそうです。仮に20%とすると200万円の車を買うのに税金40万円ですから、相当な負担になります。もっとも、欧州では食料品などに大胆な軽減税率が導入されている国が多いので、単純には比較できません。

Some economists **expressed reservations** about the consumption tax hike.

経済専門家の中には、消費増税に慎重な姿勢を示している人たちがいました。

express reservations (慎重な姿勢を示す) というフレーズです。reservation といえば、飛行機やレストランの「予約」を思い浮かべると思います。今回は「留保」という意味で、必ず複数形で使われます。have、express、voice (「表明する」という意味の動詞) と組み合わせ「慎重な姿勢を示す、不安に思う」というフレーズになります。「手放しで受け入れるわけにはいかない」「何かひっかかる点がある」というニュアンスです。

As long as reduced tax rate is introduced, I **have no reservations** about this tax increase.

軽減税率が導入される限り、この増税に不安はありません。

これも同じ用法で、no reservations ですから、とくに引っかかる点はないという意味になります。それにしても「予約」と「留保」は結びつきにくいですね。reservation の形容詞 reserved には、「予約しておく、(将来のために) 取っておく」のほかに「控えめな」という意味があります。この「控えめな、遠慮がちな」の意味の延長で考えると、Yes と言うことに躊躇するニュアンスがイメージしやすいかもしれません。

I **have serious reservations** about John's appointment as COO.

ジョンがCOOに就任することについては大いに疑問を持っています。

have reservations はビジネスの場で「あっさり認められない」と言いたいときにも使えます。例文は、人の能力や適性について疑問視する使い方です。COO は chief Operating Officer の略で「最高執行責任者」。

単語・熟語チェック

consumption tax 消費税

hike 引き上げ

reduced tax rate 軽減税率

be introduced 導入される